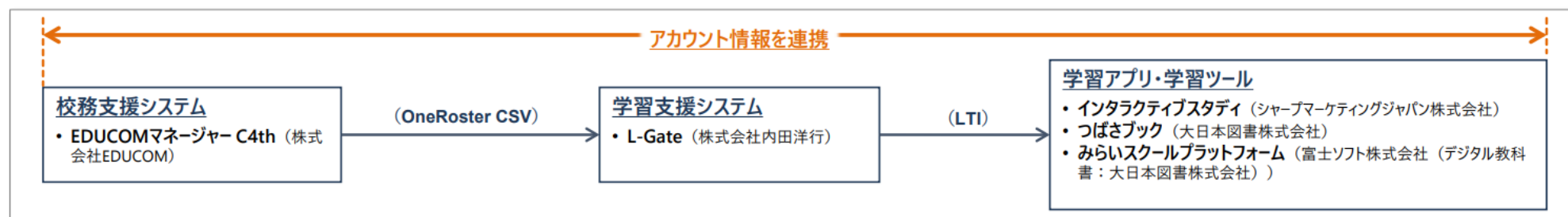


第1回の専門家会議において、相互運用標準モデルの実装についてコスト負担が大きい・不明という指摘があったことを踏まえ、政府における実証事業での事例を整理

事例① 教育データ連携の実現に向けた実証調査研究（令和6年度デジタル庁）

事業概要：茨城県つくば市に導入済みの複数サービスに対して、標準仕様を用いた教育データ連携の実証を実施。
校務支援システムと学習支援システム間にRPAを用いた名簿情報の連携や学習支援システムと学習アプリ・学習ツール間の教育委員会と各学校における名簿・アカウント管理業務全体の効率化を実証。



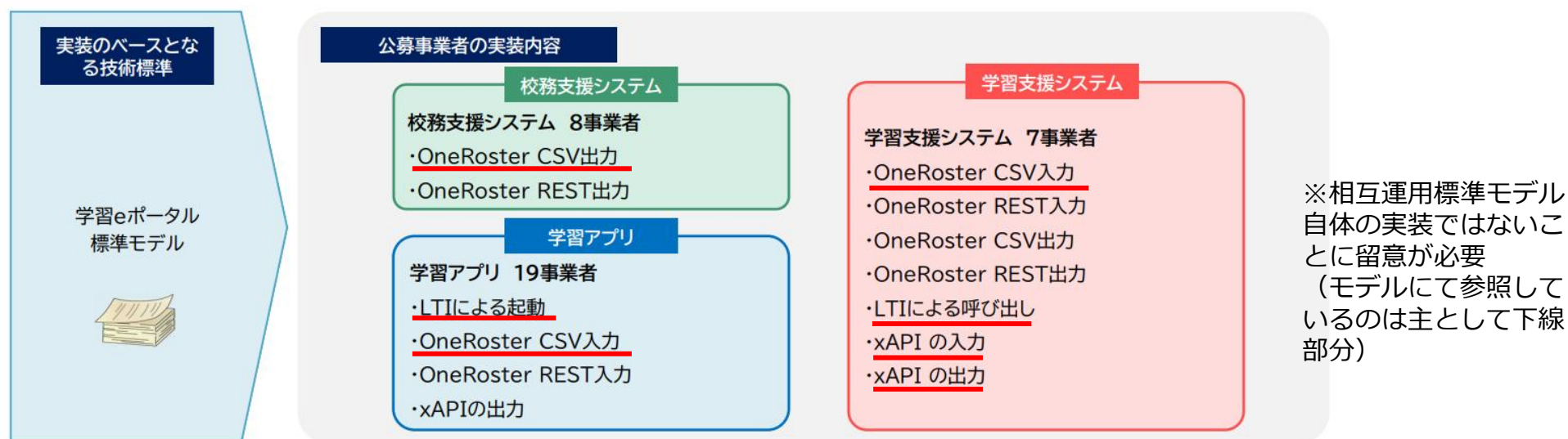
実装コスト：

- 校務支援システム
160万円（税込）程度
※当該製品はOneRosterCSV出力に対応済み
- 学習アプリ・学習ツール
1社当たり平均100万円（税込）程度
※ なお、本事例ではLTIに初めて対応する事業者がいたことから、上記の金額以外に調整のためのコストを要した。
こうした連携実績の有無によっては、実装コストが平均額に比べて上下する可能性がある。

相互運用標準モデルの実装コストに関する事例

事例② 教育関連データのデータ連携の実現に向けた実証調査研究（令和4年度デジタル庁） （教育における広域なデジタルコンテンツの利活用環境整備と連携）

事業概要：連携基盤（校務支援システム）や利活用環境（学習eポータル、学習用コンテンツ等）のデータ連携の実装を促進し、実証することを目的に接続テスト環境を構築し実装（システムを実装する事業者は公募で募集）



実装コスト：

●校務支援システムの場合

7事業者の平均額 230万円（税込）程度 ※OneRosterCSVのみの金額

※事業に参加した8事業者のうち、OneRoster CSVの実装に係るコストが明示されている7事業者の平均

●学習アプリ

7事業者の平均額 500万円（税込）程度 ※LTIによる起動、OneRosterCSVのみの金額

※事業に参加した19事業者のうち、OneRoster CSVとLTI双方を実装し、その実装に係るコストが明示されている7事業者の平均

●学習支援システム

4事業者の平均額 830万円（税込）程度 ※ OneRosterCSV、LTIによる呼び出し、xAPIの入出力のみの金額

※事業に参加した7事業者のうち、OneRoster CSV、LTI、xAPI全てを実装し、その実装に係るコストが明示されている4事業者の平均